

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 佐藤正道
 ガバナー補佐 網代智明
 会長 石川邦俊
 幹事 紺野容樹

情熱 行動
 感動 共有
 地区重点目標
 1. DEI を取り入れた会員増強拡大
 2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
 3. 活動の情報発信
 4. ネットワークの構築
 5. ポリカ撲滅

2022 - 2023 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 ウィンザー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

3月は水と衛生月間

世界ローターアクト週間 (3月1日を含む一週間)

第30回 [3102] 例会報告

令和5年(2023) 3月16日(木)

出席委員会報告

会員総数	38名
出席会員	27名
欠席会員	11名
出席率	71.05%

◆開会点鐘 石川邦俊 会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 服部裕一 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 白岩裕和 職業奉仕委員

..... lunch time
 ◆会長の時間



春らしい天気になってきて、東京の方からは桜の開花の便りが聞こえてまいりました。福島でも間もなく咲くのではないかと思います。私は今マスクをしておりませんが、今日はマスクの話をしたと思います。3月13日からマスクの着用は、室内外問わず、個人の判断ということで、政府の方からも出ておりますが、当クラブ、ロータリーでも個人の判断にお任せしたいと思います。ただ、このまま収束していくのが一番良いことですので、感染拡大しないように、まだまだ人混みに行く時は、マスクが必要ではないかと思っておりますので、よろしく願いいたします。親睦旅行が4月14日に決まりました。後ほど、親睦委員長さんから詳細を報告していただきます。今、WBCでは今日負けると終わります。勝つことを祈念して、皆さんで応援しましょう。また、選抜高校野球も始まります。福島県からは出場しておりませんが、楽しみにしている春がそろそろやってくるということで、みんなで楽しんでいきたいと思っております。また、トルコ・シリアの支援について、我々もロータリーの仲間として、支援をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

◆幹事報告 紺野容樹 幹事

A. メーキャップ報告 3/10 地区マスコミ懇談会 佐藤真也、畠 隆章、安齋忠作、高倉 怜 各会員
 3/11 地区研修委員会セミナー 齋藤孝裕 会員

◆親睦旅行についての報告 油井明則 親睦委員長

親睦委員会からご報告申し上げます。3月9日の理事会におきまして、家族同伴親睦旅行をご承認いただき、22名の方にご参加をいただくことになりました。今年は非常に桜が早く、行った時には既に終わっているということで、行程を変えることになりました。詳しい金額、行程が決まり次第、ご報告申し上げますので、よろしくお願いいたします。

◆2022-23年度「マスコミ懇談会」報告 佐藤真也 地区公共イメージ・IT副委員長

今年度のマスコミ懇談会では、第2790地区のバスターガバナーである寺嶋哲生様は、第1地域のARPICと言って、地域の公共イメージコーディネーターの補佐をされている方で、その方をゲストにお招きし、ロータリーとマスメディアということでご講演をいただきました。その後、県内のマスコミ各社、民報さん、民友さん他、テレビ局、NHK、民放4局の報道部門の責任者の皆様をお招きして、パネルディスカッションを開催させていただきました。この模様はYouTubeの方にもアップしております。ご興味のある方は、ぜひご覧いただきたく思います。また、花ももの里が4月8日に開園いたしますが、飯坂温泉観光協会の会員として、我々飯坂ロータリークラブは4月13日の例会前の午前中に来園者の皆様のおもてなしなど、ご協力をいただきたいと思いますので、お時間ある方はお願いいたします。

◆第2回研修委員会セミナーの報告 齋藤孝裕 会長エレクト

地区研修会の内容につきましては、CLP (Club Leadership Plan) につきまして、要はクラブそのものの内向きな問題点を、このプランによって、なんとかしていきましょうという目的らしく、2004年に創設され、世界レベルでもそういった仕組みらしいそうです。大きな目的でいうと、クラブを組成するなど、委員会の数が多すぎたり、機能していなかったり、会のための会になっているのではないかと、そういったところを是正して、本来の外向きの活動をちゃんとしていきましょうという、クラブの規模によらず、それに見合った形でプランを作っていくというところ。要するに、効果的なクラブ作りを目標とする内容となっております。それにつきましては、私の年度の時に、いろいろと読み解いて、それを実践できるかどうかも含め、皆さんに提案してまいりますので、よろしくお願いいたします。余談ですが、一緒になった北クラブさん、東クラブさんと来年は三団体合同で夜の例会をやりましょうというお話をいただきました。具体的には来年になったら打ち合わせをして進めたいと思います。

◆スマイリングBOX 伊堂里佳 小委員長 【合計48s】

紺野 容樹 会員 5s 佐藤喜市郎会員のスピーチ楽しみです。娘の准看護師合格を祝して
 吾妻 一夫 会員 5s 喜市郎さん、スピーチ楽しみにしています。
 油井 明則 会員 5s 佐藤喜市郎さんのスピーチ楽しみにしています。
 石川 邦俊 会員 3s 佐藤喜市郎会員スピーチ宜しくお願い致します。
 安齋 忠作 会員 3s 喜市郎氏のスピーチ楽しみにしています。
 千葉 政行 会員 3s ・喜市郎会員スピーチ楽しみにしております。
 島隆 章 会員 3s 佐藤喜市郎会員のスピーチ楽しみにしています。

トルコ・シリア大地震支援金
 送金額 50,000円
 40,000円 (回覧個人) +
 10,000円 (クラブ負担)

- | | | | |
|--------|----|-----|-------------------------------------|
| 生田目 正志 | 会員 | 3 s | 佐藤喜市郎さんのスピーチ楽しみです。 |
| 斎藤 孝裕 | 会員 | 3 s | 佐藤喜市郎様のスピーチたのしみしています。 |
| 佐藤喜市郎 | 会員 | 3 s | 本日のスピーチさせていただきます。 |
| 鈴木 牧子 | 会員 | 3 s | 佐藤喜市郎さんのスピーチ楽しみにしています。 |
| 渡辺 達也 | 会員 | 3 s | 佐藤喜市郎さんのスピーチ楽しみにしています。 |
| 賢司 賢司 | 会員 | 2 s | 佐藤喜市郎会員のスピーチ楽しみです。 |
| 菅野 浩司 | 会員 | 2 s | 佐藤喜市郎会員のスピーチ楽しみにしております。よろしく願いいたします。 |
| 服部 裕一 | 会員 | 1 s | 佐藤喜市郎会員のスピーチたのしみです。 |
| 白岩 裕和 | 会員 | 1 s | 佐藤喜市郎会員のスピーチ楽しみにしております。 |

100円献金 10,760円
ご協力ありがとうございました。

◆会員スピーチ

佐藤喜市郎 会員



本日はプログラム委員長さんから、職業奉仕についてスピーチをお願いできないかということで、私も職業奉仕ならお話ができるかなと思って、ここに立たせていただいております。職業奉仕というのは、私も大変勉強をさせていただきました、私を感じたことを織り交ぜて、お話をさせていただきます。まず、職業奉仕というのは、ここにおられる方、皆さんは職業人です。職業人ですから、もうすでに職業奉仕ということは、私から見れば、もう職業奉仕に長けた方ばかりです。ロータリーに入って、まだ日が浅いとか、長いとか、それは関係ありません。こうやって、一生懸命に自分の職業に尽くして、従業員を抱え、地域のためになっているのは、すでに職業奉仕をしておられます。そういった観点で、皆さん、自信を持って職業奉仕をこれからも続けていただきたいと思えます。また、続けていただかないとロータリークラブがおかしくなってしまいます。結局、終着点はロータリーの存続につながります。会員の退会を防止し、ロータリーの存続が全てなのだということと、会員増強につながっていきます。それは何故かということ、ロータリーは1905年にポール・ハリスら4人が最初に始めました。しかし、彼らは自分の利を持って始めたのです。今は自分の利だけではありません。地域や自分の国、今ではもうグローバル、全世界になっております。それが今、ロータリーが行きついているところです。この組織を衰退させるわけにはいかない。そしてもう一つは、ロータリーは全世界で政治や宗教にはあまり携わらないほうがいいだろうということになってきていると思っております。それで衰退させないための職業奉仕というのは、ロータリーの視点から見た話になりますが、ロータリーから見た職業奉仕というのは、このロータリークラブを衰退させないために、社会的に貢献できる人、企業もしっかりした企業、その人たちが集まり、奉仕をするということなのです。まず、自分の身が減じたら奉仕はできません。自分の身を完全にして、はじめて奉仕を行えるのです。ですから、そのメンバーが大事なのです。ロータリーを衰退させないためにも、いろいろな職業奉仕の活動として、それは永年勤続を表彰したり、職場訪問をしたり、それも職業奉仕の一環ですが、これはあくまでも、私から言えば、職業奉仕委員会というもののパフォーマンスなのです。本当の職業奉仕というのは、そこだけではありません。このロータリークラブを存続させなくてはならない。そのために、一旦は高い会費をお支払いいただいている皆さんがいるわけです。ところが退会される方もおります。その退会の原因というのは、理由はいろいろあると思えます。本当に自分に余裕があれば、退会なんかそうはしないと私は思っております。それはロータリーの会員になる時に、理事会で諮って、あの方なら大丈夫だろうということ而入った方々ですから、そのロータリーのクラブの土俵に乗った方たちは、本当に地域では素晴らしい方々なのです。だから、その方が退会するというのは、なかなか本当の気持ちは言えないのでしょうけれども、いろんなことにこじつけて、退会にいくようになります。この高い会費をお支払いして、いろんなご奉仕をするわけですが、このロータリーの存続は、ロータリーを弱くできないので、会員の皆さんが余裕を持って、長くご自分の会社を存続させなくてはならないというのがロータリーの存続に繋がるのです。ご自分の会社が存続できなくなれば、自分のクラブそのもの、この組織も弱体するわけですから、そうはさせたくないということには私はなっているのではないかと思っております。ということは、最初は自分たちの利のためなのですが、今はロータリーというのは、これだけゆるぎない存在になっておりますから、この会員数をみんなで減らさないようにする。退会する会員の数が多くなると、ロータリーそのものが衰退してしまいますから、そうならないために、みんなで勉強しましょう。ですから『ロータリーは人生道場だ』なんていう言葉が出てくるのです。そういう風にならないように、一番の根本を皆さんと一緒にやってみましょうというのが「四つのテスト」です。この「四つのテスト」は、ご自分の商売を衰弱させないための一つのバイブルだと思っております。今日の資料ですが、わかりやすいコメントが書いてあります。これをきちっと行えば、お客様は逃げないのです。あくまでも信用なのです。もっとわかりやすく言えば、自分がお客様になったことを考えてください。儲けられると思った所に行きますか。行きません。自分がそこ行ったら得したと思ったらまた行くのです。原点はそこだと思えます。それが企業を潰さない原点だと思っております。そういうことで、ここにおられる会員の方々は、もうすでに自分の会社を一生懸命やっておりますから、職業奉仕は十分なのです。ただ、ロータリーから見た、その職業奉仕というのは、今お話した通り、このロータリークラブというのを弱体させないために、まずは自分が健康でなくてはならない。そして、自分の会社の健全な成長にしていく秘訣が、この「四つのテスト」で、本当の基盤になっているのではないかと思っております。今後とも、皆様方は一生懸命、自分の会社を健全にして、自分の体も健全にして、世のため人のためという、大変おこがましくなりますが、それが本当の職業奉仕で、ロータリーという、この素晴らしい土俵がありますから、これに長く留まってほしいと思っております。これが私の今、自分のロータリーに関する職業奉仕という観点からお話をさせていただきました。ありがとうございました。

時間がちょっとありますので、少しお話をさせていただきます。今、景気が良くありません。家に伝わると言いますか、ご先祖様から聞いた話ですが、まず「大將軍(たいしょうぐん)」をご存じですか。大將軍というのは、東から数えて東南西北、3年ずつ12年で1周します。今は西です。西から北に回るところなのです。大將軍が西の時には戦争になると言われております。今、戦争ですね。この前の大震災もそうです。12年前ですから。湾岸戦争もそうでした。太平洋戦争もそうです。だから、西に回ってくると、どうしても争いが始まるのです。西の後は北になり、景気が悪くなります。景気が上向いてくるのは5、6年先になるのです。1、2年のずれはありますが、そうなるのです。ですから、大將軍が北から東に移る前に企業を起こせということです。だから、起業する時にうちでは必ず北が終わる頃から起こせということです。うちの親戚は結構起業しているのがおります。もう一つ、これもお話ししておきたいのが、皆さん時計を持っていますか。十二針の時計を持っている方は見てください。1番上が12時です。その前は11時、その次が1時です。その2時間を昔でいうと、一つの「刻(とき)」なのです。これは「九つ」です。昔の刻は逆回転なのです。3時まで「八つ」、その次が5時から7時と逆回りなのです。その九つには言い伝えがあります。「九は病」というのは、東京大震災が12時です。あと震災もありました。2時46分、これは「八」です。これは「四の騒ぎ」なのです。あとは「五七の雨」、「四つは日照り」と、大体合うのです。阪神淡路の震災も「四の騒ぎ」です。これは自分の生活の中で、そこに気がついた人が、よく見るとそういうことを決めたと思います。だからこういうことも今の時代に、そんなのは迷信だという方もおられるでしょうけれども、私から言わせると、これも馬鹿にはできないという感覚でおります。拙い話で大変恐縮ではございますが、ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長